

一般質問

■「有機給食」について
「有機給食」の導入で子供たちに安全・安心な食事の提供を！

質 化学肥料や農薬を原則使わない「有機食材」を給食に取り入れる「有機給食」について、必要性の見解を伺う。

また、子どもたちへ、安全・安心な食事の提供のために、「有機給食」を導入してはどうか。

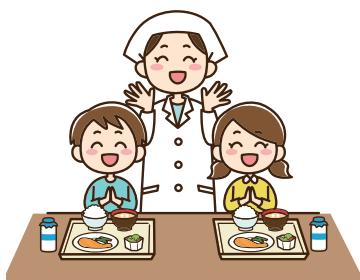
答 安心・安全な学校給食を提供する上で、化学肥料や農薬を原則使わない「有機食材」は、食の安全性が高く、野菜本来のおいしさも味わえ、フードロスの減少にもつながるため、食育の推進には重要だと考える。

しかしながら、給食への導入には生産者が少なく、大量の食材の確保が困難であり、単価も高くなることから給食への導入は難しい状況である。

現在、安心・安全な食の提供のため、食育の視点も踏まえ、地元産食材の使用や、価格に応じてではあるが、農薬を減らした野菜を使用しており、また、本年秋には化学農薬や化学肥料を5割以上削減した特別栽培米を学校給食として提供する予定である。



瀬戸 三代 議員
(あすなろ)



原田 一則 議員
(灘会)



一般質問

■職員地域活動への参画について
ノウハウを活かすための取組を！

質 地域の行事やイベントが再開されているが、過去にコロナ禍で中止されていたことで、活動の停滞が懸念される。

職員は、積極的に地域活動に参画しており、地域の担い手となっていくことを期待されている。職員が持つノウハウをより地域活動に活かすための取組について伺う。

答 地域活動における人材不足という状況は十分理解している。職員は、日頃の業務を通して様々な能力を身に付けており、地域活動でその経験を活かせるものと考えている。各家庭の事情もあり、活動への参画を強制すべきものではないが、職員であると同時に市民の一員でもあり、積極的に参加するように機会があることに促している。

なお、総務省では、自治会やNPOなど各地で担い手不足が深刻化する中、職員の参加を促すために、自治体が条例で特別休暇を創設できるよう、今年度中に通知を発出する旨の報道もあり、当市でも職員が地域活動に参加しやすい環境を整えていくために、制度の創設に関して検討したい。